

免疫制御学研究室の紹介

薬学部 免疫制御学研究室 西田 圭吾

私は 2014 年、独立行政法人の研究機関から薬学部にご縁があり着任いたしました。着任と同時に免疫制御学研究室を立ち上げる機会に恵まれました。前職の研究機関は、研究支援環境が充実しており、免疫学の最先端の研究に参画し、多くの経験と知識を積み上げることができました。

大学のような教育研究機関で、どのように自身の研究を展開していくか思案していた際、薬学部において、いわゆるリバーストランスレーショナルリサーチ (rTR) を実践されている先生方のアプローチを見習う形で、「マウス」を中心としたトランスレーションリサーチから「ヒューマン」を主点においた rTR へ自身の研究スタイルをシフトさせる動機にたどり着きました。

2015 年、大学院薬学研究科の大学院生として博士課程の学生が免疫制御学研究室のメンバーとして仲間入りしてくれました。本薬学セミナーでは、大学院生の 4 年間での研究の取り組みを示しつつ、大学院生/学部生中心の研究室運営の一旦を紹介できればと考えています。

免疫制御学研究室では、これまでに 19 名の学部生が卒業研究生として、卒業研究に取り組んで巣立っていきました。また、在学中の研究室配属生には、サイエンスを「楽しむ」をモットーに、研究活動に携わってもらっています。